

～準備はお早めに～

令和5年分所得税・令和6年度住民税の申告相談

町では次のとおり申告相談を行います。混雑防止のため町内会ごとに相談日程を設定しています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。詳しくは、1月12日頃に各戸配布する「申告相談のお知らせ」をご覧ください。

税務課課税係 ☎ 585-2778

期間 2月14日(金)～3月15日(金)

午前の部 午前9時から(受付11時30分まで)
午後の部 午後1時から(受付4時30分まで)

会場 観月台文化センター3階 第1・2研修室

■ 申告会場問い合わせ電話番号
☎ 585-1083 (直通・期間中に限る)

申告相談日程 ※指定日に都合の悪い方は期間中いつでも申告相談できます。

月日	町内会名	月日	町内会名
2月14日(金)	小坂・太田川	3月1日(金)	大町北・本町・宮町(南・北)
15日(土)	前田・泉田上・泉田中	3日(日)	休日相談受付(地区の指定はありません)
16日(日)	泉田下・鳥取・板橋	4日(月)	観月台文化センター休館日のため休み
19日(水)	板橋南・内谷西・内谷東	5日(火)	宮東・町東・藤田光陽・藤田宮前
20日(火)	貝田・光明寺	6日(水)	原町・築館・並柳
21日(水)	大木戸・高城・山根・上野	7日(木)	中部・北部・川内
22日(木)	鶉町・滝山・小林・山崎館	8日(金)	森江野第1・2
23日(金)	祝日のため休み	11日(月)	森江野第3・4
26日(月)	山崎(北・小館・宮館・宮前) 源宗山(西・東・北)	12日(火)	徳江北・森江野第7
27日(火)	大坂・山崎耕谷・山崎沢田	13日(水)	森江野第8・9
28日(水)	石母田(東・表・北・原・西)	14日(木)	森江野第10・11・12
29日(金)	駅前・錦町・大町南	15日(金)	全地区(地区の指定はありません)

【混雑防止対策】

- 相談時間短縮のため、事前に自宅などで書類(事業所得、医療費控除等)の作成をお願いします。また、パソコン、スマートフォンからでも申告書の作成が可能です。作成した申告書はデータでの提出(e-tax)や印刷して郵送・持参することも可能です。詳細は税務署のホームページをご覧ください。
- 来場者が集中することを防ぐため、町内会ごとに日程の割り振りをしています。
- 1階ロビーに受付を設置します。順番となり次第、受付時にお渡しするベルでお呼びします。
- 当日の受付状況により、受付人数を制限します。

税務署からのお知らせ

《申告書作成・送信は自宅で国税庁HPから》

- パソコン、スマートフォンなどから画面の案内に従って金額などを入力するだけで、申告書が作成できます。
- 読み取り対応のスマートフォンであれば、マイナンバーカードの電子証明書によるe-Tax(電子申告)が可能です。
- スマートフォンのカメラで給与所得の源泉徴収票を撮影すれば、金額や支払者情報などが自動で入力されます。

※詳しくは「確定申告」で検索

確定申告 検索



《国税に関する質問・相談》

電話相談センター

国税に関する一般的な相談は、仙台国税局の職員が答えます。☎ 024-534-3121 (福島税務署)に電話し、音声ガイダンスに従って、「1」番を選択してください。

タックスアンサー

よくある国税の質問に対する一般的な回答は、国税庁ホームページの「タックスアンサー」に掲載していますので、ぜひ利用してください。

【税務署確定申告書作成会場】

■ 場所 アクティブシニアセンターAOZ 大活動室 (福島市曾根町1-18 MAXふくしま4階)

■ 期間 2月16日～3月15日(土日祝を除く)

※ ただし、2月25日(日)は開設。

■ 時間 午前9時15分～午後4時 ※9時開場

※ 申告書作成会場では、ご自身の「スマホ」を使用して申告書を作成します。事前に設定した暗証番号をご確認ください。

※ MAXふくしまの駐車場は、駐車時間が2時間を超える则有料になります。

※ 会場入場には整理券が必要です。取得方法は①LINEアプリでのオンライン事前発行、②会場付近で当日券を受け取る方法があります。

オンライン事前発行はこちらから⇒



ハル通信

-Halu News-

第17回

冬の特別特訓講座

単語力・計算力向上チャレンジを実施しました!

中学1年生と2年生を対象に、「単語力・計算力向上チャレンジ」を行いました。

英語であれば、単語力。数学であれば計算力。積み上げの教科において、基礎となるこの2つは欠かせません。

定期テストや高校入試にも活用できるこの力を、ゲーム形式で競い合いながら養ってもらいました!

例えば単語力向上チャレンジでは、神経衰弱ゲームを実施しました。カードに書かれた英単語と、その日本語の意味をセットで覚えていない状態では相手に勝つことができません。

そこで、まずはじめに生徒たちは神経衰弱で登場する英単語が記載されたリストを、スタッフの指示に沿って暗記します。それからスタートし、神経衰弱が終わった後には、単語テストを実施しました。授業前には覚えていなかった単語も、答えられるようになっていました!

積み上げが必要な教科や単元は、繰り返し練習し続けることが重要です。1月以降も実施していきますので、皆さまお気軽にご参加ください!



放課後塾ハルは随時、新規入塾者を募集しています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

Email:hokagojuku.halu@gmail.com

TEL: [中学部] 080-7236-6232 / [小学部] 080-9151-6442

※ 12:30～21:30 土日祝日、年末年始を除く。

まちをデザインする――

国見版C I 検討を進めています

スローガン(案)

「寄り町 STAY 国見町」

- ①昔から現在に至るまで、国見町は交通の要衝である。
- ②道の駅オープン後は、通過するだけの町から徐々に立ち寄ってもらえるようになってきた。
- ③今後も多くの人に立ち寄ってもらい、道の駅だけでなく町内の他の場所にも足を運んでほしい。気に入ってもらえたらまた寄ってほしい。

などの意味を込めています。

詳細は町ホームページをご覧ください。

企画調整課過疎対策係 ☎ 585-2160



▲検討委員会の様子

▲ワークショップの様子

昨年度より検討を進めている、国見版C Iの検討委員会を開催しました。

検討委員会では事務局よりスローガン(案)を提案し、委員の方と意見交換をしました。委員の皆さんからは「寄り町」のコンセプトには共感するところが多かったが、STAYが英語で唐突感がある。「寄り町」という言葉に負けないよう、道の駅以外にも町内に寄れる場所が必要といった意見が出されました。

また、少年仲間づくり教室では町の「推し」について考えるワークショップを行いました。